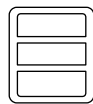


かねざわ 第54号

平成27(2015)年8月

- ・探訪（第6回学習会）のお知らせ（P2）
- ・会員の投稿「俳句」あれこれ」「谷津村事情」（P14、15）
- ・「懐かしの映画を観る会」
10周年記念事業について（P23）



次

運営委員会からのお知らせ

- 2 探訪(第6回学習会)のお知らせ
- 3 “わ”の会新入会員懇親会記録

学習会

- 5 第1回 「私たちの山歩き」を歴史を
絡めて伝えます
- 9 第2回 金沢北条氏 ③ 顕時から貞顕
- 12 第3回 金沢北条氏 ④ 貞顕から貞将

会員の投稿

- 15 「俳句」あれこれ 小倉 英明
- 16 谷津村事情 伊澤 尚

分科会からの便り

- 19 「懐かしの映画を観る会」鑑賞録 No. 15
佐藤 晃
- 23 「懐かしの映画を観る会」
10周年記念行事について 鈴木 勇夫
- 24 「浮雲俳句会」抄録 No. 30 北野 清市
- 28 「ふれあいの道歩こう会」定例会概要 No. 10
小俣 悦男
- 30 パソコンなんでも相談室 [4] 林 洋
- 31 ハリスの問答書(通商条約締結要求) 真田 雅行

行事予定

- 36 2015年9月～11月



金沢区生涯学習“わ”の会

ホームページ:<http://kanazawa-wanokai.in.cocan.jp/>
メー ル:yokohama.kanazawa.wanokai@gmail.com

探訪(第6回学習会)のお知らせ

『称名寺を中心に』

実施日：10月9日(金)

定番となっています秋の探訪のご案内です。

今年の探訪は学習会で金沢北条氏について学んでいることに因んで『称名寺を中心に』をテーマに取り上げました。既に皆様は称名寺についてはいろいろとご存知のことと思いますが、学習会での内容等を思い出しながら称名寺にかかわることを、もう一度見直しをしてみても如何でしょうか。称名寺金堂ではご住職に法話をお聞きします。

案内は“わ”会 探訪実行委員会が行います。

歩く距離は約 2.5Kmで、市民の森の稲荷山、金沢山の若干の登り下りがありますが、それ以外は平坦な道となりますので奮ってご参加下さい。

※市民の森の登り下りのきつい方には、別途対応いたします。

『実施要領』

1. 探訪地： 金沢地区：称名寺境内、称名寺市民の森、海岸尼寺跡、薬王寺
2. 日時： 10月9日(金) 9時15分～15時 小雨決行
註1：班編成 20名毎1班とします。
註2：荒天等で中止の場合は当日朝6時45分までに、担当者が電話連絡すると共に“わ”の会ホームページに掲載します。
3. 集合時間： 午前 9時15分(厳守)
4. 集合場所： 称名寺赤門前
5. 持物： 名札(着用)、昼食、飲料
6. 昼食場所： 金沢町町内会館
7. 探訪経路： 赤門⇒仁王門⇒実時墓陵⇒八角堂⇒観音広場⇒百観音⇒称名寺(法話、長浜観音)⇒金沢町町内会館(昼食)⇒顕時・貞顕の墓⇒海岸尼寺跡⇒薬王寺
※諸般の事情により、コースを変更する場合があります。
8. 申込期限 9月30日(水曜日)

“わ”の会新入会員懇親会記録

配布資料：①懇親会レジュメ

②“わ”の会5年の歩み(抜粋)

③会報バックナンバー NO.47～51

1. 日時 2015年7月25日(土) 13:30～15:00

2. 出席

新入会員：熊谷信雄 杉山 茂 須藤ヒロミ 西村康枝 鶴岡重徳 佐藤和広

分科会代表：吉田寿紀(寺社を巡る会)

真田雅行(古文書を読む会)

佐藤 晃(懐かしの映画を観る会)

小俣悦男(ふれあいの道歩こう会、パソコンを使いこなす会/代理)

鈴木勇夫(浮雲俳句会/代理)

運営委員：今井鎮夫(司会) 岡田 満 鈴木秀幸 江口正彦 柴土一廣 山腰策次郎

内田孝知

3. 内容

1) 今井代表挨拶

本日はお暑い中、新入会員の方々、分科会代表の方々にお集まり頂き、ありがとうございます。今日お集まり頂いた趣旨は「入会して2年目の方々の会員継続率が低い、何故だろう」と言うところからスタートしました。入会された方の“わ”の会との最初の接点は5月の総会と第1回学習会です。その後の学習会への参加の様子を拝見しますと、話す相手、質問する相手もなく、ポーンとしておられるのがまゝ見うけられます。“わ”の会の特長は毎月の学習会と6つの分科会の活動との相乗効果です。しかし色々聞いて見ますと、どの分科会に参加したら良いのか相談も出来ず、なかなか参加のきっかけが掴めないと言う意見が多い様です。今日は、当会としては初めての試みですが、新入会員の方々の思うところ、何か相談したいことなどが気楽にお話頂ければと考え、かつ入会の相談が出来る様に分科会代表の方々にも来て頂きました。奇譚の無い処でざっくばらんなご意見、お話が伺えれば幸いです。宜しくお願い致します。

2) 分科会代表挨拶。

- ・自己紹介(“わ”の会及び分科会入会のきっかけ等)と分科会の概略説明

3) 運営委員挨拶

- ・自己紹介(“わ”の会と運営委員になった経緯等)説明

4) 新入会員自己紹介

- ・熊谷さん 2014年退社、姫路出身、金沢区在住15年余、別の歩く会に入っています
- ・須藤さん 龍華寺住職講演(弘法大師の仏身観)がきっかけ、入会の仕方が判らなかった
懐かしの映画を観る会に入会⇒オペラ同好会入会⇒“わ”の会入会
- ・杉山さん かねざわの歴史辞典、重宝している、知人の紹介で入会
- ・西村さん 学習会の内容を理解する事が大変です
- ・鶴岡さん あと1年半現役、横浜生まれの横浜育ち
- ・佐藤さん 古文書を読む会に入っていたのですが知らないうちに“わ”の会に入会していた
運営委員にはなりません、学習会参加のみです

5) 分科会説明(各代表)

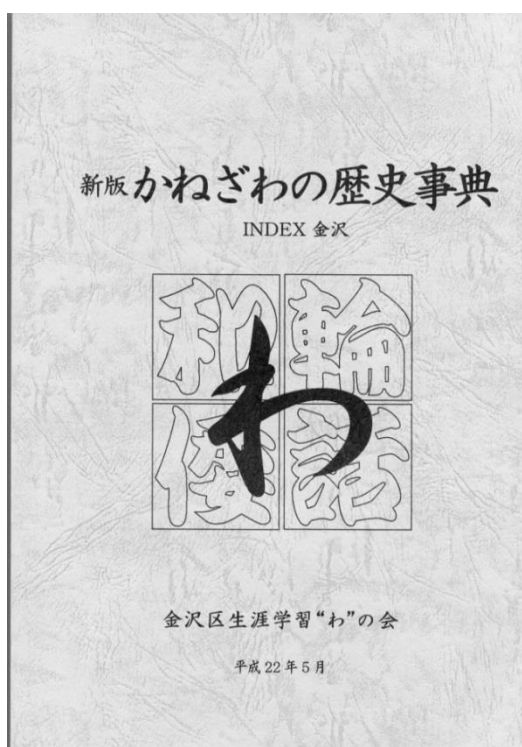
- ・各分科会の設立の経緯、現状、今後の進め方について説明、加えて各会の健康への優位点説明
- ・寺社を巡る会が一番古く、“わ”の会の性格上、核となる会
- ・パソコンを使いこなす会が一番新しく、8年目

6) 学習会について

- ・西村さん、鶴岡さん 6月、7月は前後の関係が判らないと理解しにくいところが有った
- ・須藤さん 映画の会 佐藤代表の映画に関するコメントが素晴らしい
- ・今井代表 講師から、講演中居眠りする方が居ないのはびっくりしましたとのコメント
会場の収容人員の関係で会員数に上限を設けざるを得ない状況にあります

7) かねざわの歴史辞典について

累計2,000部販売、現在4年後の“わ”の会20周年に向けて「3版」を編集



第 1 回 「私たちの山歩き」を歴史を絡めて伝えます

開催日：平成27年5月9日（土）
10:40～11:40

会 場：能見台地区センター 多目的室AB

講 師：「ふれあいの道歩こう会」
代表 小俣 悦男 氏



講師：小俣 悦男 氏

【概要】

1. 分科会「ふれあいの道歩こう会」と「関東ふれあいの道」

初めに分科会創設の中心になり平成25年1月の「関東ふれあいの道」全コース踏破まで代表を務められた宮原氏のあいさつをいただき本題に入った。

「関東ふれあいの道」とは環境省が昭和63年に完成させた関東一都六県を一周する長距離自然歩道で、東京八王子の梅ノ木平を起・終点に高尾山、奥多摩、秩父、妙義山、大平山、筑波山、霞ヶ浦、九十九里浜、房総、三浦半島、丹沢などを巡ります。1区間10km前後に区切った日帰りコースを144区間設定し、総延長は1665kmとなっている（現在は160区間、1799km）。美しい

自然を楽しむばかりでなく、田園風景、歴史や文化遺産にもふれ合うことが出来る道です。

分科会は平成15年11月に初会合を持ち、翌16年1月16日神奈川県コース1番「三浦・岩礁のみち」から歩き始めた。神奈川県17コースの後、東京都7コース、埼玉県13コース、群馬県35コース、栃木県25コース、茨城県18コースと順に歩いた。千葉県の29コースは埼玉県以後の冬期に歩いていたので平成25年1月17日霞ヶ浦畔の茨城県18番「水の恵みと水田地帯のみち」をもって全コースを踏破した。

全コース踏破者は6名で、賞状と純銀製のメダルが授与された。「関東ふれあいの道」の事務局によると、表彰制度が始まってから19年間で受賞者は合計102名であるが、6名まとまったの受賞は初めてであり、「ふれあいの道歩こう会」のよう

に団体で歩くのも珍しいとのことでした。この足跡を残すため「ふれあい記録」第1集から第3集を編集した。踏破後の平成25年2月からは分科会継続の希望が強くあり、独自コースを設定して継続している。

2. 「関東ふれあいの道」で印象に残ったコースを4つ挙げた。

① 神奈川県 17番「北条武田合戦のみち」

永禄12年(1569)、愛甲郡愛川町の三増峠で武田信玄と北条氏照らが双方2万の軍勢で戦った

戦場跡は今でも往時を偲ばせる雰囲気を残している。

② 栃木県 1番「赤銅（あかがね）のみち」

江戸後期から昭和まで日本の産業を支えた足尾銅山は日本の公害問題の原点でも知られている。現在、銅山は閉鎖され、渡良瀬川上流域は自然も

回復しつつあり、人造湖草木湖や湖畔の星野富弘美術館などのある観光地になっている。

③ 茨城県 9番「筑波連山縦走のみち」

筑波山は日本百名山の1つである。877mの標高はの中で最も低いが、関東平野の何処からでも

目立つ双耳峰は「西の富士、東の筑波」と称せられ、古くから信仰の対象となっている。

④ 茨城県 18番「水の恵みと水田地帯のみち」

霞ヶ浦からの景観が素晴らしい。全144コース踏破のゴールとなったこともあり印象が深い。

3. 主に分科会の有志と登った山々からの富士山の映像紹介と宝永の噴火

まず文部省唱歌「ふじの山」《あたまを雲の上に出し・・・♪♪》と歌い出し、作詞者の巖谷小波は小説「金色夜叉」のモデルであり、大橋新太郎を通して金沢と繋がることを紹介した。その後、分科会有志と登った山で富士山の眺望が素晴らしかった七面山や雁ヶ腹摺山、三つ峠山などからの映像を登山の模様など交えながら説明した。

次いで宝永4年11月23日から16日間に及んだ富士山の大噴火について語った。神奈川県コースを歩いた時、秦野の町に「秦野たばこ資料館」があったのがきっかけで富士山・宝永噴火に結び

付いた。降灰が富士山の東側でひどく、秦野で50～60cmも積もった。荒廃した田畑を火山灰土などやせた土地で栽培できる葉タバコが救った。秦野産タバコが「新編相模国風土記稿」にも佳品であることが記され、鹿児島や水戸と共に三大産地となった。1960年代からの都市化が進み、1984年に葉タバコ栽培は姿を消した。

横浜市内でも「宝永の砂降り」と言い、大岡川周辺でも降灰が8～16cmあり、川の浚渫や直流通化工事など大きな影響があった。金沢八景駅土地整理事業での発掘調査の際、宝永の火山灰の堆積層が確認された。

4. 最後に皆さんにお勧めの2つのコースを紹介した。

① 独自コース11番「高川山とリニア基地」

高川山は JR 初狩駅から登り、富士急田野倉駅に下るので交通の便がよく、標高 623m で 2 時間ほどで山頂に立てる。山頂からは富士山をはじめ周囲の山々 360 度の展望が素晴らしい。帰り

には徒歩で県立リニア見学センターに立ち寄り、館内展望エリアから最高時速 500km の超電導リニアモーターカーの通過を見学することが出来る。

② 独自コース14番「城下町小幡を歩く」

群馬県甘楽町に織田信長の次男信雄から織田氏系譜が七代、その後松平(奥平)家によって治められた小幡藩がある。大名が通った 14m の中小路や武家屋敷、4 月上旬に行われる「大名行列」などに城下町の名残を残す。また、信雄が 7 年の歳月と数万両の巨費を投じて築いた池泉回遊式庭園「楽山園」が復元され国指定名勝に指定された。日本の

名水 100 選にも選ばれた雄川堰沿いには養蚕農家など古い町並みが残し、桜の時期にはそれは見事である。上州電鉄の上州福島駅下車でタクシー利用、平地で誰でも歩ける。世界遺産富岡製糸場は 2 つ先の上州富岡駅から徒歩 10 分のところなので立寄る事も出来る。

(相川 記)

【アンケート集計】

1. 出欠のアンケート状況

出席者		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	計	アンケート(提出率%)
	男	71	8	79(74.5)	0	79	
	女	16	0	16(84.2)	3	19	
計		87	8	95(76.0)	3	98	36(40.0)

2. 講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった
23 名	11 名	1 名	1 名

- ・山歩きの楽しさがよく伝わってきた(4)
- ・以前に登った山々をなつかしく思い出した(1)
- ・富士山を中心とした自然美と歴史とを絡めた良い山歩きができています。素晴らしい学習会だった(3)
- ・画像がきれいで、話も面白かったが、テーマ上やむを得ないが内容が散漫的になった(2)
- ・風景が美しい。富士山の映像、雄川のサクラがとてもきれいだった(6)
- ・いつもと違った趣向の手作り講演で、全員が参加して楽しむことができた(8)
- ・「会」の楽しさと安全第1が伝わった(3)
- ・おすすめコースを歩きます(2)
- ・地元の歴史や故事来歴がよく分かった(3)
- ・声も良く通り、語調もゆっくりで聞きやすかった(7)

- ・山好きの私には大変良い話だった。若ければ歩きたい（１）
- ・「富士山」の唱歌、美声でした（１）
- ・宝永の大噴火は楽しく聞けた（１）
- ・「会」の行動をもとに、様々なバリエーションを用意した努力と成果を称賛（２）
- ・パワーポイントでの説明で分かりやすかった（１）
- ・リニアが営業したら是非乗ってみたい（１）
- ・話がぷっつりぷっつり切れて、内容については訳が分からなかった（１）

3. 小俣講師に希望する講演テーマについて

- ・今後の活動を祈ります（１）
- ・大橋新太郎と金沢（１）
- ・富士山の話をもっと（１）
- ・何でも得意なもの（３）
- ・俳句入門（１）

4. 学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	チェックなし
17名	8名	1名	10名

- ・どの資料も見やすく、多くの方の尽力の賜物と感謝します（３）
- ・時間配分良し（２）
- ・会員皆様の知識が高度なのに感心した（１）
- ・総会運営大変良かった（１）
- ・新委員の方々、さらなる発展を目指し、張り切ってください（２）
- ・初参加、これからもお願いします（１）

5. “わ”の会について

- ・歴代の役員各位の努力が偲ばれました（１）
- ・新しい分科会の芽を読み取り、育てる時期（１）
- ・新運営委員会の皆さま、会員125名のため頑張ってください。側面で応援します（１）
- ・本年の活動を期待します（１）
- ・運営委員の皆様、いつもお世話になります（１）
- ・新会員です。よろしくお願いします（１）
- ・“わ”の会の内容は大変充実している。特に分科会が素晴らしく、また講演の企画内容、運営に感心（１）
- ・協力態勢が良く感じられた（１）
- ・「乙鱸」は「おっとも」で「おつとも」とは発音しない。70年金沢に住んでいる。地名は正しく（１）

第2回 学習会 金沢北条氏 ③ 顕時から貞顕

開催日：平成27年6月13日（土）

13:00～16:00

会場：金沢地区センター 大会議室

講師：東洋大学講師 細川 重男 氏



講師：細川 重雄 氏

【概要】

細川重男講師には、実泰・実時・顕時・貞顕・貞将について、昨年度より順次4回ご講演をお願いしている。今回は表記のテーマで1年ぶりの登場です。本日の学習内容をさらに分かりやすくする為に、鎌倉幕府中核の政治に関わりある名称と、その内容の説明が白板を使って行われた後に本題に入った。

北条顕時は、父は実時、母が執権北条政村の娘である。父の存命中には、左近将監・叙爵(18)、引付衆(22)、父の死後は評定衆(31)、四番引付頭人(34)などの要職を歴任し、金沢北条氏の当主として重視されていた。ところが順調に出世を成しておいていた顕時は思わぬ大事件に遭遇した。鎌倉幕府の内乱である。弘安7年(1284)執権北条高

宗が死去し、弱冠14歳の貞時が継ぐと、得宗専制を進めようとする御内人の平頼綱と有力御家人で幕府の重鎮であった安達泰盛との対立が深まってきた。翌年、頼綱は機先を制し、泰盛一門を殲滅させることに成功させた。俗に「霜月騒動」と言われる大事件である。顕時は泰盛の娘を正妻としていたので、評定衆の職を解かれ、所領の下総国埴生荘に配流されたのです。顕時の下総幽閉は、貞時が、頼綱を滅ぼすまで8年近くに及んだ。顕時は帰還後恵日と名乗り出家するが、後に復権し再び引付衆に加えられます。しかし、長年の激務から、正安3年(1301)3月28日に54歳で死去し、跡を子の貞顕が引き継いで行きました。

15分間休憩後の14時45分から北条貞顕の学習に」はいる。

細川講師はいつもの通り精力的な声と歯切れの良い語り口に、時折り上手にアドリブを入れて会員を引き付ける。北条貞顕は、父・顕時、母・遠藤為俊の娘の間に弘安元年(1278)に生まれ、金沢北条氏の最盛期を築いた人物である。六波羅南方(25)に選任され、その後は中務大輔、越後守、正五位下などを歴任された。31歳で1年余り鎌倉に戻っただけで、再び37歳まで長く京都に滞在している。この間、貞顕は京都から指示するだけであった。正和3年(1314)、37歳の時に、久しぶりに鎌倉に帰った。そして、貞顕は正和4年(1315)には連署に就任した。その後は年少で病弱な高時を盛り立てる一方で、貞顕は先例を重んじる常識人で、周囲に対する配慮を怠らない調整役

で順調に出世を遂げて行った。さらに嘉暦元年(1326)3月16日朝には、北条高時の使者・長崎高資により「執権」就任する旨の伝達を拜命された。この時貞顕は「面目無極候」と素直に喜び、「当日被始行評定候了」と、執権就任の日から出席するなど势力的に活動を見せた。だが貞顕の執権就任に反対する者は出家し、それに追従して連なる人々の多くが出家した。さらに貞顕暗殺の風聞まで立ったため、貞顕は10日後の3月26日に執権職を辞任して出家した。(法名：崇顕)

学習会は通常は午前開催が定番であるが、細川重男の講義は午後開催となっている。「時には雰囲気が変わって受講しやすい」との会員の声も聞かれた。一度考えてみることも?…………。

(金久保 記)

【アンケート集計】

1. アンケート集計

出席者		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	計	アンケート(提出率%)
	男	60	8	68(64.1)	2	70	
	女	12	0	12(63.1)	0	12	
計		72	8	80(64.0)	2	82	36(43.9)

2. 講演内容評価

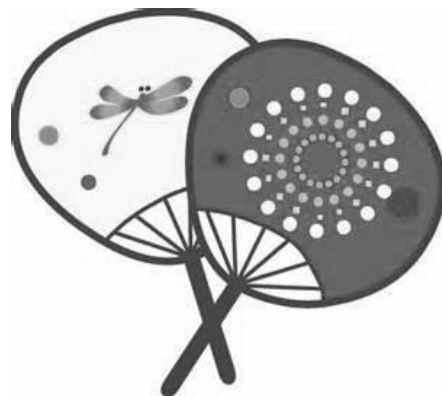
A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった
26名	8名	0名	1名

- ・声ははっきりして、メリハリがありテンポも良く、理解できた(8)
- ・内容をやさしくかみくだいて表現してもらい良かった(6)
- ・こむずかしい歴史を面白く聞かせてくれた(3)
- ・「金文」を引用し、顕時と貞顕の足跡を詳しく説明してくれた(2)

- ・ざっくばらんな語り口に親近感を覚えた（3）
- ・具体的なことがらを、こまめに示し解説した（1）
- ・二セ古文書を知り得て、またどんでん返しの呈示も面白かった（2）
- ・あきさせず、眠くもならず、時間の経つのを忘れた（2）
- ・鎌倉時代の政治社会の基本的組織を事前にほしかった（1）
- ・幕府中枢の政治組織、役職の解説があったので分かりやすかった（1）
- ・話が系統的でなく分かりにくく、理解できなかった（1）
- ・資料を充実してほしい（1）

3. 細川講師に希望する講演テーマについて

- ・今後も金沢北条氏にまつわる講演（1）
- ・次回も次々回も、中世のお話を是非（3）
- ・金沢氏以後の六浦荘の所領関係（1）
- ・鎌倉の武士団について（1）
- ・基本的な史書について（1）
- ・江戸時代の金沢（1）
- ・運営委員にお任せ（1）
- ・いろいろなテーマを聞きたい（1）



4. 学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	チェックなし
14名	16名	1名	5名

- ・時間配分良し（1）
- ・ご苦労さま（1）
- ・運営委員の細かい気遣いが感じられる（1）

5. “わ”の会について

- ・4月に入会したのでよく分かりません（1）
- ・新しい分科会の出現を（1）
- ・たいへん勉強になりました（ビジター1）
- ・終了後に5分間、カンヅメ状態でアンケート記入時間を設ける（1）



第3回 金沢北条氏 ④ 貞顕から貞将

開催日：平成27年7月11日（土）

13:00～16:00

会場：能見台地区センター 多目的室

講師：東洋大学講師 細川 重男 氏



講師：細川 重雄 氏

【概要】

金沢北条氏第五代貞将は、金沢北条氏の最盛期を築いたと言われる貞顕を父に、北条時村の娘を母に1302年に出生したとも言われているが、それを裏付ける資料はなく不確実なものである。金沢北条氏が、貞将で滅亡したという事情からも、貞将に関する資料は極めて少なく、その生涯はよくわかっていない。彼には、兄にあたる顕助なる者がいたが、庶子であったため正室の子である貞将が嫡子とされている。貞将の読みは、一般的に「さだまさ」が用いられていたが、昭和になってから

*前田本「諸家系図」の足利氏の系図に、管領斯波義将なる者があり、この者の読みを「よしゆき」としている

*貞将の弟の貞匡が「さだまさ」と呼ばれており、兄弟同じ読みは考えられない

の2点から「さだゆき」の読みが正規のものとされている。金沢北条氏の家格の高さもあり、貞将は年少の頃から、評定衆・官途奉行の上級職に就いていたが、その後も順調に五番引付頭人・四番引付頭人と出世していく。中でも、正中元年（1

324）には、六波羅南探題となったが、その就任の際には空前の五千騎という大軍勢を引き連れて京都入りしている。六波羅探題は、承久の変を機に幕府による朝廷の監視と京都の治安維持をより強化する目的で従来の京都守護に代えてつくられた行政機関で、南北双方に置かれ、初代北条時房・泰時以降全て北条一門によって占められた。6年後の元徳2年（1330）には鎌倉に戻り、一番引付頭人に任じられたが、元弘の変で隠岐島に流されていた後醍醐天皇が、元弘3年（1333）島を脱出し再度倒幕を呼びかけたのに呼応して、上野新田庄の新田義貞が拳兵したのを初め、各地に反幕府の動きが広まった。新田の軍勢は初め数百騎の小勢力であったが、京都攻めに向かった足利尊氏が、幕府に反旗を翻したことなどにより、各地の武将がこれに合流し、遂に数万の大軍勢となって鎌倉攻めにむかった。北条方の勇猛な武将であった貞将は、幕府軍の総大将としてこれと相対したが各地で敗北、遂に新田軍は鎌倉に攻め入ってきて、巨福呂坂での三日間の激しい戦闘となったがここでも大半の将兵を失っ

た。この状況下、幕府は14代執権高時以下東勝寺に集結していたが、貞将はそこで高時に最後の面会をして死地の戦場に向かって行く。この貞将に感激した高時は、貞将を南北両探題に任ずるとの命令書を与えたとされるが、これは幕府の乱れの実態を示すものである。しかし、貞将はその命令書を有難く受け取り、それを鎧の中にしまって

新田軍のなかへ突撃して討ち死にしたとされている。高時はじめ870人の幕府方の勢力も、全員東勝寺において自刃し果て、遂に元鎌倉の海岸を掘り起こした時数千の人骨が見つかったという。

(田中 記)

【アンケート集計】

1. 出欠のアンケート状況

出席者		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	計	アンケート(提出率%)
	男	62	8	70(66.0)	1	71	
女	12	0	12(63.1)	0	12		
計	74	8	82(65.6)	1	83		

2. 講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった
45名	10名	0名	0名

- ・鎌倉幕府滅亡時の歴史をリアルに表現されてよく理解できた(11)
- ・ユーモアを混え、楽しく庶民側の話として興味深く聞くことができた(10)
- ・面白く、聞きやすい語り口であった(10)
- ・現実の鎌倉の地形を頭に貞顕→貞将の話を聞いた(1)
- ・自己都合で今回しか受講できなかったのが残念(1)
- ・史実の説明の読み上げに臨場感があってよかった(2)
- ・豪胆な貞将が執権17代就任?、は興味深く聞いた(5)
- ・歴史の雑談が面白い(2)
- ・いわゆる通史がそのまま正しいとは限らないことを教えられた(1)
- ・4話にわたり、金沢北条氏が詳細に、文献に基づき、よく理解できた(11)
- ・明確な点と不明な点を区別しているので分かりやすいが、声が大きすぎる(1)
- ・称名寺を見る観点が変わってくるような気がする(1)
- ・歴史の中で人間が生きることが伝わってくる(1)
- ・歴史研究の方法論がよくわかった(1)
- ・わかりやすい参考書を紹介してほしい(1)
- ・いままでになく一生懸命に聞いた、あっという間に終わった(2)
- ・金沢北条氏と「太平記」がわかりやすく理解できた(1)
- ・足利氏もお願いしたい(1)
- ・歴史知識の復習になった(1)
- ・来年度もよろしく願います(1)
- ・白板の字が小さく見えにくかった(1)

3. 細川講師に希望する講演テーマについて

- 建武・室町・戦国時代について(5)
- 頼朝と義経(1)
- 鎌倉の中世史、武士社会(2)
- 運営委員にお任せ、再度の講義(3)
- 後北条氏(1)
- 「これは知らないでしょう」的な話を組み込んだ講義(2)
- 元弘の変、北条氏はなぜ負けた(1)
- 時宗、元寇について(1)
- 吾妻鏡、玉葉、愚管抄等の資料の相関(1)
- 漢文解説のある定期的な講座(1)
- 関ヶ原、江戸幕府成立(1)
- 北条政子の生涯と幕府の役割(1)
- 鎮西金沢氏(2)
- 金沢と六浦と称名寺の関係(1)

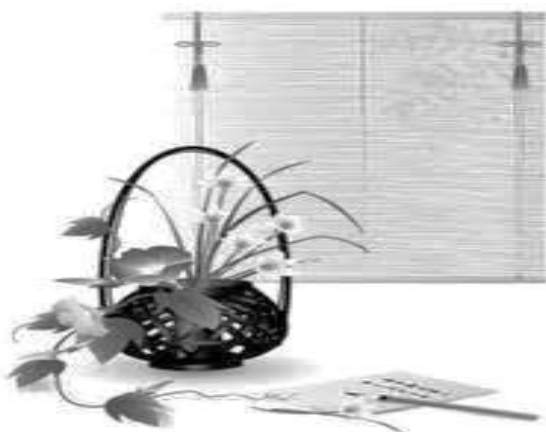
4. 学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	チェックなし
32名	18名	1名	4名

- 最後の五分間のアンケート時間が良い(3)
- 2コマで時間に余裕があった(2)
- 時間にムダがなく気持ちよく過ごせた(2)
- 時間内に説明が終わったことが素晴らしい(1)
- 今後も地元に関する講義をお願いしたい(1)
- ホワイトボードの字が薄く後ろではよく見えなかった(1)
- 運営委員の気配りが伝わってくる。ご苦労様です(1)

5. “わ”の会について

- 懇親会、出席します(1)
- 懇親会、出席できず、すみません(1)
- 金沢について、時代を問わず教えてください(1)
- 金沢の戦後史、現代史もテーマにしてほしい(1)
- いつもありがとうございます(3)
- 歴史に関する講演会を続けてほしい(1)



「俳句」あれこれ

小倉 英明

私の愛読書の一冊『國民的俳句百選』長谷川權（講談社刊）は俳句の知識を得るのにとっても重宝しています。その二、三をご紹介します。

（一）

柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺 子規

とても有名な句ですが意味は単純明快。柿を食べていると法隆寺の鐘がゴーンと鳴った。

この句がなぜ俳句の代表格の一つなのか、よく分かりませんでした。

以下、『國民的俳句百選』からの引用です。

「まずこの句が日本の風景そのものであること。柿、法隆寺、鐘の音。これだけ聞いただけで奈良斑鳩の田園風景や法隆寺参道の松並木や五重塔が心に浮かぶ。法隆寺に行ったことがなくても行ったような気がしてくる。ということは、この句は法隆寺の風景そのものであるどころか、法隆寺の風景がこの句によって作られてしまっているわけだ。」

（二）

「文は人なり」というが、「俳句はもっと人なり」なのだそうだ。以下、同前の引用です。

「 淋しくもまた顔のさかり哉 夏目漱石
死なば秋露のひぬ間ぞ面白き 尾崎紅葉
木がらしや東京の日のありどころ 芥川龍之介

漱石の憂愁、紅葉の伊達ぶり、龍之介の理知的な構成。本人は花や風景を描いたつもりでも、まぎれもなく人柄が映っていてその人本人がそこに立っているような感じさえする。」

（三）

秀句、名句の条件とは何でしょうか。私は「誰もが納得する平易な句」だと思っていますが、俳人の意見を新聞、雑誌、俳句のテキストなどから拾ってみました。

- ・俳句は俳人以外の方が、耳で聞いてわかるものでなくてはいけない。 (水原秋櫻子)
- ・選の採用基準は、まず一句一季語すなわち有季定型であること。つぎに一読すると、わかりやすい句であること。さらに一句のすがたがよくて、リズムがととのっていること。その上で上品なユーモアを感じさせる句であれば申し分ない。 (江國 滋)
- ・夏目漱石の著書『文学論』に饅頭の出てくるくだりがある。「饅頭の真価は美味にあり。その化学的成分のごときは饅頭を味わうものの問うを要せざるところなり」饅頭に例えたのは俳句である。俳句を味わうのに成分論議（難解な解釈）は無用、うまければよいのだ。 (読売「編集手帖」)
- ・以下は同じく、『國民的俳句百選』からの引用です。

「俳句とは短い（言葉が少ない）というだけでなく「切れ」によってさらに短く切り、深々とした「間」をとりこむ詩である。「間」が広々と開けて誰でも、その句の世界で遊ぶことができる。名句であるか否かを見分ける基準は、その句が涼しげにそこに立っているかどうかこの一つしかない。」

谷津村事情

伊澤 尚

浜中心部が焼け野原になり、終戦になりました。今から70年前のことです。焼け出され、小学1年生で、この谷津町に引っ越してきました。その時から、ほとんど自分の町を知らずに年月ばかりが経ってしまいました。少しは住んでいる所につ

いて知りたいと思い、幾つかの資料を参考に知りえたことを記してみたいと思います。自分勝手な思い込みもあろうかと思いますがどうかご容赦ください。

地域：成り立ち

武蔵国の最南端で、久良岐郡の金沢、谷津村についてです。『谷津』は鎌倉時代以来の地名で、ここに金沢氏一族の居宅が営まれていたと考えられている」と『小泉家文書』に記されています。

谷津という文字で判るとおり、入り海の奥まったところに、この谷津村はありました。現在の谷津町の火の見櫓辺りまで古代には海が来ていたようです。この村には二つの岬がありました。東に君が崎、西に白井崎です。白井崎から塗桶山へ

至る稜線が谷津村と赤井村の村境になります。東側が谷津村。こんなところにある村は戸数も人口も少なく、貧困で塩造りをするか、農業に従事するか、灌木を切って薪にするかで、生計を立てていたようです。中でも塩造りに依存することが多かったのではと推察されます。

この様な寒村の文化として寺と神社について書いてみたいと思います。

文化：寺・神社

この村の中を往還道が通っていました。保土ヶ谷道（金澤道）です。重要な街道に沿う村にも関わらず、谷津村の範囲と考えられる地域には古刹といった寺がありません。ちなみに現在の金沢区内を鎌倉道（金沢道）沿いに寺名を列記すると、朝比奈方面から辿ると宝樹院、光傳寺、長生寺、上行寺、泥牛庵、金龍院、瀬戸神社。神社を過ぎ、更に古道を辿ると龍華寺、安立寺、天然寺、伝心寺、寺前八幡神社。神社を左に見て、坂を上り詰めると薬王寺、大宝院、光明院、称名寺があります。区役所発行の生活マップから拾い出した現存する寺名です。マップから分かる通り谷津町、片吹まで含めても、片吹の太寧寺を除いて古刹と言える寺はないのです。因みに太寧寺は昭和になって今の地に移りました。はじめにこの寺について記します。

太寧寺は海蔵山太寧寺といって臨済宗建長寺派の寺。創建は建久2年(1191)。開山は大興禅師。開基は源範頼。源範頼の菩提寺、範頼の墓という五輪塔がある。本尊は薬師如来。寺宝として

範頼公画像(雲谷等叔「遊素斎」作)がある。薬師如来は運慶作ともいわれ、俗に「へそ薬師」と呼ばれています。以前この寺は瀬ヶ崎にあったが、旧海軍の軍用地拡張のため、昭和18年に強制移転され現在地に移転してきたものです。

「へそ薬師」の由来は永仁年間(1293～1298)のこと、この村に貧しい娘がいて、貧乏で父母の忌日にも供養が出来ないため、糸を繰ってへそ(織機にかける糸をへその型にまいたもの)として売ろうとしたが、買う人もなく困っていると一人の童子(旅僧とも)がこれを買ってくれた。この童子が薬師如来の化身であったことに由来し、へそ薬師と呼ばれるのです。

この寺は古くは真言宗の寺で薬師寺と称したが、戦国時代に臨済宗建長寺派の寺として再建されたのではないかという。源範頼は源頼朝の弟。ある事件で源頼朝の怒りを買って、伊豆の修善寺信功院に幽閉され、その後梶原景時・景季父子の率いる五百余騎の軍勢に急襲されました。防戦するも破れて自ら館に火を放ち自害しました。景時は

焼けた首を鎌倉の頼朝のもとに持参した後、太寧寺に埋葬したと言われます。しかしこれには異説があり、一つは範頼は修善寺より脱出し、横須賀の浦郷あたりの洞窟に隠れていたが、追っ手が迫ったので太寧寺で自害したという説、一つは武蔵国足立郡石戸郷(埼玉県北本市)で晩年まで生涯を全うしたという説があります。範頼が浦郷に逃れて追っ手に追われた浜が追浜、土地の漁師が追っ手を鉈で斬って範頼を助けた所を鉈切。範頼の逃避行を助けた者達に蒲の姓を授けたので瀬が崎や洲崎辺りに蒲の姓の家が多いという。昭和に移転した際にも蒲谷姓の方々も移転したようで谷津や片吹にも蒲谷性の方が多く見受けられます。

寺宝の範頼公の画像は越前朝倉の末裔と伝えられる杉若景秀が、太寧寺の範頼の墓を訪れた折その苔蒸した様子を見て範頼の画像を描かせたという。しかし杉若景秀が描かせたオリジナルなものは残っていないので、現在太寧寺にあるものは写本です。萩藩毛利家のお抱え絵師雲谷等叔(遊素齋)が写したものです。更にこれを毛利家の家臣黒田頼久が文化7年(1810)に修理しています。

太寧寺には江戸時代の医者赤ひげ先生こと小川笙船の墓があります。小川笙船は八代将軍徳川吉宗の時代に生活困窮者のために享保7年12月に創設の施薬院小石川養生所の肝煎(病院長)に任じられた人です。隠居してから金沢で3年間六浦や瀬が崎等で過ごし、病を得て江戸に帰り、宝暦10年(1760)6月に89才で亡くなりました。小石川の光岳寺に葬られたが遺言により太寧寺に分骨が埋葬されました。

範頼の位牌は太寧寺と称名寺の隣にある薬王寺に同じものがあります。位牌には「建久4年癸丑年8月24日太寧寺殿道悟大禅定門尊儀」とあります。薬師寺が太寧寺になった時、薬師寺がなくなるのを嘆いて範頼の別荘のあつた薬王寺の場所に薬師寺を建て、範頼の冥福をいのった(この薬師寺は天文5年(1536)に薬王寺に改号)ことから、また瀬が崎の太寧寺が衰退した時に太寧寺の持っていたものを一旦薬師寺に引き取って、太寧寺が再建された時に太寧寺に返したからともいわれます。薬王寺では範頼の亡くなった日が8月24日(埋葬の日という)なので、毎年この日に三河忌(範頼が三河守だったので)を営み範頼の霊を弔っています。

『新編鎌倉志 巻の八』1685年(貞享2年)には太寧寺について、「瀬崎村の南にあり。海蔵山と號す。蒲御曹司源範頼菩提寺也。開山は千光國師。今建長寺の末寺なり。本尊薬師・十二神、是をへそ薬師と云ふ。・・・」と記すが、現在は十二神は当寺には有りません。何故無いのかその経緯は不明だが、現在は奈良国立博物館に十二神将立像として保管展示されています。奈良国立博物館の説明には、同寺は清涼寺式釈迦、善光寺式阿弥陀という二つの霊験像の形式を混在させる珍しいスタイルの薬師如来立像を本尊とし、十二神将像はかつてその眷属であった。各像はそれぞれに自由潤達なポーズを示し、変化に富んだ群像を構成する。面相には頭上に戴く十二支のイメージが投影されているように思われると記されています。

その他

資料や地誌から見ると、谷津村には永泉院(英泉寺?)、常楽院、という寺名が見つかります。何れも龍華寺の末寺ですが無住寺院のため、明治2年8月に廃寺になっています。永泉院のあった場所は浅間神社裏参道を少し登った辺りではと推測しています。でも何処にあったのか今では分かりません。常楽院については一切不明です。

金沢文庫発行の図録『龍華寺』には次のように記しています。

常楽院==右龍花寺末寺 領主倉橋内匠 武州久良岐郡金澤谷津村・古儀真言宗・無住・境内

=無段別-御免除地・本堂=寺宇[東西南北] 式間四面 本尊=尺如来・開基=法印和能・檀家等無御座候 現在廃寺

永泉院==右龍花寺末寺 領主倉橋内匠 武州久良岐郡金澤谷津村・古儀真言宗・無住・境内
=無段別-御免除地・本堂=東西式間 南北式間 本尊=十一面観音・開基=継真法印・檀家等無御座候 現在廃寺

両院ともその広さから無住であっても村人には大切にされていたのではないかと推測します。

他には能見堂があります。地誌によると位置的には釜利谷村に属していると記しています。そこに地蔵院があります。地蔵院は江戸時代に急遽造営されたものです。『新編武蔵風土記稿』によると能見堂、擲筆山地蔵院と号す、禅宗曹洞派、江戸千駄ヶ谷、瑞圓寺末、村北を通ずる街道の傍なる山上にあり、本尊地藏、正観音あり金沢三十三所の一。

大正、昭和の初め頃まで、そこに茶店などを出していたのは谷津村の住人だと思われます。屋号

に谷津には「のうけんど」と言う方がおります。更には谷津の火の見櫓の半鐘は能見堂地蔵院にあったものです。

他には『新編武蔵風土記稿』によると地域の中には阿弥陀堂があったようですが、これも何処にあったのか不明です。谷津町内会館の所に阿弥陀堂跡という案内が立っていますので、この辺りにあったと思われます。

他には前述したような古刹に値する寺は発見できません。以上が谷津に関する寺についてです。

神社については

塗桶山頂上には、浅間神社があります。主神を木花咲耶姫尊（このはなさくやひめのみこと）とし、安産の神として祀っています。谷津村と赤井村との境にあり、村の鎮守、寺前村薬王寺持。古より村持ちの社として村人に守られてきた。この神社の裾近くに赤井へ抜ける坂があり、富士坂と云われたようです。現在は切り通しになり、坂の面影を想像するのも難しいです。この安産の神は村人はもとより、隣村の村人からも崇められている。祭りの供物（赤飯）と蠟燭が貴重とされていました。社屋は天保3年（1832）（一説には天保7年という）に火災により焼失。よって寺暦、由来等の詳細不明。伝説や古老の話によると、寛仁2年（1018）に藤原道長が能見堂からこの山を眺め、塗桶に似ているので塗桶山と名付け、創建したと言われる。当時は神社下まで内海が入っていたという。現在はその様すら想像するに難く、内海は全て埋め尽くされて、ビル群と化している。境内は1748.76㎡（529坪）あり、古木、名

木が茂り、野鳥も多く見られ、特に夏の蝉時雨は耳を覆うばかりに賑やかである。樹間よりの眺望は素晴らしく、東方に房総半島の鋸山、南方は三浦半島の二子山、西方は霊峰富士が眺められる。後(北)方には能見堂を眺める。由緒は[社頭掲示石碑]（神奈川県神社庁）によれば、御祭神：神代紀に曰、天孫の曰はく、汝が懐める所の者は、吾が子にあらじとのたまふ。木花開耶姫、愈り恨みまて曰く、吾が娠めるところ、若し天孫の胤にあらざば、必ずまさに焦げ滅びなむ。實に天孫の胤ならば、火も害ふこと能はじといい。即ち無戸室を作りて其の内に入り居り。火を放けて室を焼く。煙の中より三子生ず。火少しも害ふ所なし。ゆえに安産を称へ奉り、并に火災を除き、穀を傳へ、狭名田の稲を以て天甜酒を醸す。又、蚕を養ひて神の御衣を織る。故に五穀成就、酒造養 守護の御神なり。

その他の神社を地誌から拾うと

- 子権現社：街道の左にあり、薬王寺持
- 君が崎稻荷社
- 釈迦堂

『小泉家文書』には

- 阿弥陀堂：武州久良岐郡谷津村 五番地 本尊阿弥陀如来木造
- 地蔵院：武州久良岐郡谷津村 貳拾八番地 本尊地藏菩薩木像、閻魔王木像、観音菩薩木像

- 浅間社：（天保14年7月）
- 子神社：（天保14年7月）
- 第六天社：（天保14年7月）
- 辻堂：（天保14年7月）

と記されているが、まだ検証はできておらず、今回はここまで終了とします。

今後、谷津の屋号や言葉、字名、名松、名所、甚句、ヤグラなどを調べてみたい。

「懐かしの映画を観る会」

鑑賞録 No.15

代表 佐藤 晃

平成 27 年度第 3 回 鑑賞会

〈鑑賞日：2015.5.11〉

翼よ！あれが巴里の灯だ The Spirit of St.Louis

製作：1957年アメリカ映画

上映時間：138分

監督：ビリー・ワイルダー

原作：チャールズ・A・リンドバーグ

出演：ジエームス・スチュワート、バーレット・ロビンソン、アーサー・スペース

(あらすじ)

1926年。ロング・アイランドのガーデン・シティホテル。リンドバーグ（J・スチュワート）はこのホテルに泊って雨の止むのを待っている。眠れないまま、いろいろな思い出が交錯する。ニューヨーク～パリ間の無着陸飛行の最初の成功者には25,000ドルの賞金が与えられることになった。セントルイス～シカゴ間の郵便飛行士の若きリンドバーグはそれを目指し、町の有力者を訪ねて資金の寄付を仰ぐ。銀行の頭取などの援助を得て、資金は整い、飛行機は町の郷土の名前をとって“セントルイス魂号”と名付けられた。飛行機の製造はカリフォルニア州サンディエゴのライアン航空に依頼する。ライアン航空の協力で、短期間に飛行機は完成し、リンドバーグは直ちにセントルイスに戻った。折も折、パリを発ったフランスのナンジエッセとコリーが遭難の知らせが入る。後援者たちはリンドバ

ーグの身を案じて計画の中止を申し出るが、決意の固いリンドバーグは出発地のニューヨークに向かった。5月20日、午前7時52分、雨で荒れた飛行場から多くの見送り人の声援に送られて、3,600マイル彼方のパリを目指して飛び立った。“セントルイス魂”号は順調に飛ぶ。だが、一睡もできなかったリンドバーグは時折強い睡魔に襲われる。それを防ごうと幼い日の思い出を頭に描く。最初の単独飛行のこと、空中サーカスで曲芸師をしていたことなどが走馬灯のように思い出す。飛行機はアメリカ大陸を離れて、大西洋上にかかった。窓外をみるといつの間にか雪となっている。翼に付いた雪が凍り、機体が重くなり、高度が下がってきた。大迂回して翼の氷を落としたが、リンドバーグは疲れ果てていつの間にか眠りに入り操縦桿を放した……

(解説)

リンドバーグの自伝回想録をビリー・ワイルダーが監督した。3,600マイルの長距離一人旅の映画化は困難が多い。脚本家出身のワイルダーは脚本作りにも参加して、工夫をこらし、魅せる映画作りに成功した。特に離陸してからのワイルダーの演出は見

事である。狭い操縦室だから動きも少ない。話し相手もない。回想シーンだけではもたない。才人ワイルダーはまず、蠅を登場させる。飛行場から紛れ込んで来た蠅である。リンドバーグは蠅と話をする。蠅が地図の上を動くと言明役ともなる。それと飛行

場で女性からもらった小さな鏡。伏線としてどう使うかと思っていたら、危機を救う小道具となる。この

映画が訴えているアメリカのフロンティア・スピリットはさすがしい。

平成27年度第4回 鑑賞会

〈鑑賞日：2015.5.25〉

駅 STASION

製作：1981年 東宝映画 上映時間：132分

監督：降旗康男 脚本：倉本聡

撮影：木村大作 音楽：宇崎竜童

出演：高倉健、いしだあゆみ、烏丸せつ子、倍賞千恵子

(あらすじ)

【1968年1月 直子】北海道、銭函駅ホームで警察官の英次(高倉健)は妻の直子(いしだあゆみ)と4歳の息子義高に別れを告げた。英次はメキシコオリンピックの射撃選手に選ばれ、妻子と別居して合宿生活が続いていたが、その間、過ちをおかした直子が離婚を承諾したのである。数日後、札幌で検問中、英次の上司・相馬が英次の目前で連続警察官射殺犯“指名22号”森岡茂に射殺された。英次はオリンピック選手のため犯人追跡班から外された。

【1976年6月 すず子】英次の妹の冬子の結婚式に出席した英次は、久しぶりに故郷の増毛で幼友達と飲み明かした。英次はオリンピック強化コーチの傍ら、赤いミニスカートの女性だけを狙う通り魔を追っていた。増毛駅前の風待食堂で働く吉松すす子(烏丸せつ子)の兄の五郎が犯人として浮かんだ。英次たちはすす子を張り込んだ。すす子と付き合っ

ていた町のチャンピラの雪夫(宇崎竜童)が英次に協力を申し出た。雪夫は結婚を口実にすす子を口説いた。そのころ、五郎からすす子に会いたいとの連絡が入る。愛する雪夫を兄に会わせたくて、刑事の張り込みを知りながら、すす子は兄の潜伏する町に会いに行く……

【1979年12月 桐子】英次のもとに、旭川刑務所の吉松五郎から、刑の執行を知らせる手紙が届いた。4年間、差し入れを続けた英次への感謝の手紙だった。正月の帰省のため、英次は雄冬への連絡船の出る増毛駅を降りた。英次は警察官を辞する決意を固めていた。風待食堂では相変わらず、すす子が働いていた。独り五郎の墓参りをした後で、連絡船の欠航で所在ない英次は、暮れの押し詰まった30日だというのに赤提灯の灯る居酒屋「桐子」に入った……

(解説)

脚本家・倉本聡が「駅舎」という題で高倉健に贈ったシナリオを、降旗康男の監督で映画化した作品である。降旗と高倉のコンビは以降『居酒屋兆治』『鉄道員(ぽっぽや)』『ホテル』の名作を生む。今回はこのコンビに名カメラマン木村大作が加わり、雪の風景描写で、情感をさらに高めた。物語は、「銭函」「上砂川」「増毛」の三つの駅を背景に、高倉健扮

する刑事と三人の女性たちとの哀しい運命が描かれる。中でも、年末の増毛駅近くの居酒屋で、英次と桐子が八代亜紀の「舟唄」を聞きながら孤独な心を慰め合う場面、銭函駅で、いしだあゆみがセリフを一言も発せず、泣き笑いの表情で敬礼をしながら去っていく姿など忘れ難いシーンが多い。

平成27年度第5回 鑑賞会

〈鑑賞日：2015.6.8〉

悲しき口笛

製作：1949年 松竹 モノクロ 上映時間：83分

監督：家城巳代治

出演：美空ひばり、原保美、津島恵子、菅井一郎、大坂志郎、徳大寺伸

(あらすじ)

横浜・桜木町近辺には風太郎といわれる自由労働者が群がり、浮浪者たちと一緒に散在していた。少女のミツ子(美空ひばり)は歌が上手でみんなの人気者である。戦災で父母と家を失い、そんな風太郎と一緒に生活している。ミツ子の兄の田中健三(原保美)は、戦地から復員し、妹のミツ子を探している。手がかりは、健三が以前、音楽を志していた頃作ってミツ子に贈った『悲しき口笛』という歌である。健三はミツ子を探ね歩いているうちにビヤホールで無銭飲食をして用心棒に殴られていたところを、ホールの従業員の京子(津島恵子)に救われた。それをみていた吉村(徳大寺伸)は健三の代金を支払い、自動車連れ去った。一方、京子は父親と二人で、

オンボロの倉庫に暮らしていた。父、修(菅井一郎)は音楽家だが、昔の夢去らずで、ジャズに溶け込めず、バイオリンで流していたが収入は少ない。その倉庫にミツ子加わり、3人の生活が始まった。ある日、修はメチルアルコール酒のために目がつぶれてしまった。心配したビヤホールの店主の安田(山路義人)が見舞いに来て、京子にアルバイトを世話するからと言って多額の金を置いていった。ミツ子は風太郎たちに歌を歌って少しばかりの金を稼ぎ、薬代を置いていった。このいじらしい姿を見て、京子は安田の店に出向いたが、以前、健三を救った吉村の一味の密輸団の仕事だった。京子は驚いて逃げようとしたが捕まって、船底に監禁されてしまう……

(解説)

この映画は、天才少女歌手として人気の出始めた美空ひばりの第1回の主演映画である。美空ひばりは当時12歳だった。舞台は戦後4年目の横浜。港の見える丘公園の辺りの高台に風太郎たちが住んでいる。セットではなく当時のありのままの横浜である。1949年に公開された黒澤明の『野良犬』が三船敏郎の刑事が歩く街が戦災後の東京そのままであるように、同じ年に作られた『悲しき口笛』も65年前の横浜である。そこで歌う美空ひばりの歌は青空のように澄んでいる。ドラマの展開はありきたりだが、家城巳代治の演出はしっかりしている。

美空ひばりの歌う『悲しき口笛』のレコードは当時としては戦後最高の45万枚を売り上げ、ひばり人気を不動のものにした。1949年美空ひばりはコロムビア・レコードと専属契約を結び、映画にも6本出演する。5本目が『悲しき口笛』で、映画とレコードのヒットで、ひばりを一躍スターダムにのしあげた。翌年、映画『東京キッド』も主題歌もヒットが続き、51年には芸能雑誌の人気投票では、岡晴夫、小島実の大スターに次いで第3位に上がり、以降順風満帆の道を歩むようになる。

平成27年度第6回 鑑賞会

《鑑賞日：2015.6.22》

インドシナ Indochin

製作：1992年 フランス映画

上映時間：159分

監督：レジス・ヴァルニエ

主演：カトリーヌ・ドヌーヴ、リン・ダン・ファン、ヴァンサン・ペレーズ

1992年アカデミー外国語映画賞、セザール賞主演女優賞、助演女優賞

(あらすじ)

1930年代、インドシナは植民地としてフランスに支配されていた。インドシナ人は、一部の特権階級を除いて虐げられ、苦しい生活の中で、共産主義者による独立の機運が高まっていた。インドシナ生れのフランス人エリアーヌ(カトリーヌ・ドヌーヴ)は実父の面倒を見ているうちに婚期を逸し、独身のままゴム園の運営を続けていた。また、親友のアンナンの王族である友人夫妻を事故で失い、遺児のカミーユ(リン・ダン・ファン)を養女として、また、遺産である広大なゴム園の経営も引き受けている。養女カミーユが美しい娘に成長した頃、エリアーヌは年下のフランスの海軍士官ジャン＝バティスト(ヴァンサン・ペレーズ)と恋に落ちる。しかし、街中で起きた共産主義者による発砲事件に巻き込まれたカミーユが、偶然バティストに助けられたこ

とで、カミーユはバティストに熱烈な恋をする。カミーユのことでエリアーヌと口論になったバティストは人々の目の前で、エリアーヌを殴り、罰として僻地のドラゴン島に左遷された。カミーユは親同士の取り決めで幼馴染みのタンとの結婚が決まっていたが、カミーユはタンに縋てを打ち明け、バティストを追ってドラゴン島に向かった。カミーユを逃がしたタンも、特権階級の暮らしを捨てて、独立運動に参加する。荒地を歩いてやっとドラゴン島にたどりつくが、そこはフランス軍が統治する奴隷売買の拠点だった。道中知り合ったインドシナ人が、フランス軍将校に虐待されているのを目撃したカミーユは、思わず相手の拳銃を奪って撃ち殺してしまった。駆けつけたバティストと共にドラゴン島を脱出し、共産主義者の地下組織に匿われた。…

(解説)

1930年代、フランスの植民地だったインドシナに独立運動が起こり始めた頃、インドシナに生まれ育った女性と、独立運動に身を投じたその養女の人生を描いた壮大な叙事詩である。エリアーヌとカミーユは、海軍士官バティストを同時に愛したが、カ

ミーユとバティストとの間に生まれた息子エチエンヌはフランスに帰ったエリアーヌが育て、成人する。エリアーヌがインドシナで最後に得たのはインドシナの申し子、エチエンヌであった。

(カトリーヌ・ドヌーヴ)

カトリーヌ・ドヌーヴは50歳近くながらも依然として美しく、フランス映画界のエースである。1943年、フランス・パリ生まれ。60年に映画界

入り。主な出演作は『シェルブールの雨傘』(63年)、『昼顔』(66年)、『終電車』(80年)。

「懐かしの映画を観る会」10周年記念事業について

「懐かしの映画を観る会」 鈴木勇夫

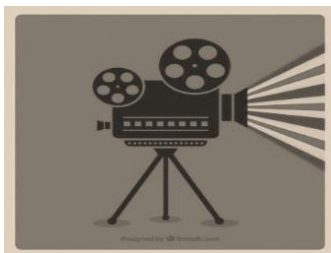
分科会「懐かしの映画を観る会」は平成16年6月、17名の映画愛好家が集まり、スタートしました。以来、毎年26本から30本の映画を鑑賞し、10年後の平成25年度までには鑑賞本数は251本を数えるに至りました。会員数も年年増え続け、80名を超えるまでになりました。そこで、「懐かしの映画を観る会10周年記念事業」を行うこととし、昨年8月「実行委員会」を組織して、下記の通り計画を立てました。

1. 記念誌に替わるCDの作成

- ・CDについては、この10年間に鑑賞した251本の映画を総て収め、120枚作成しました。
- ・鑑賞の際、配布された全作品の「あらすじと解説」および鑑賞映画の画像を収録してあります。

2. 記念講演会を開催（27年6月20日）

「10周年記念講演会」と題して、横浜市立大学のビデオホール（150名収容）にて6月20日に実施しました。参加者は73名。講師は佐藤代表が務めました。演題は『懐かしの映画とスター達』で、聴衆は30ページに及ぶレジメを片手に、スター達の懐かしい写真を見ながら講師の話に聞き入りました



佐藤さん映画は最高よ！

3. 祝賀会（パーティ）の開催（27年6月20日）

横浜市立大学のシーガルセンター食堂で祝賀会を開催。佐藤代表の挨拶、“わ”の会今井代表の祝辞の後、余興としてD会員が練りに練って作成したこの10年間に観た映画に関する賞品付きクイズを行い、パーティは大いに盛り上がり、盛況裡に終了しました。終了後、参加者全員にS会員の提供による映画のDVD47枚、プログラム20枚を粗品として進呈した。



「懐かしの映画を観る会10周年記念祝賀会」

2015. 6. 20

「浮雲俳句会」抄録 No.30

代表 北野 清市

《よい句・残る句》(その3)

3 表現が平易で俳意の深い句

虚子は、「平明にして余韻ある句」をキャッチフレーズにしております。

流れ行く大根の葉の早さかな 虚子(五百句)

虚子の『自句自解』に次のように出ています。

「ふとある小川に出て、橋の上に佇んでその水を見ると、大根の葉は非常な早さで流れている。これを見た瞬間に、今までたまりにたまって来た感興が、はじめて焦点をえて、句になったのである。その瞬間の心の状態を云えば、他に何物もなく、ただ水に流れゆく大根の葉の早さといふことのみであったのである。」

とにかく、「表現が平易で俳意の深い句」の典型です。

次に、結社での事例を挙げておこう。

そっくりと言はれし母の春ショール とも女

〈そっくりと言はれし〉と、さりげなく、日常使っている措辞が、大変よい。別言すると、極めて表現が平易で、そのうえ一物仕立てのため、一気に上五から下五へ、非常にリズムよく、続けて口ずさぶことができます。

更に〈母の春ショール〉の措辞に、いろんな物語が詰め込まれており、深い俳意が、滲み出てきます。

楷書からふはり草書の二月かな 国眼

比喻法により、詩的な飛躍を図った秀逸。楷書Aと草書Bを対峙させ、そこから転化したイメージ。即ち堅いハードな厳冬から、柔らかいソフトな初春へ…。しかも、〈ふはり〉という副詞により、AからBへの移行を、見事に成し遂げた技に敬服した。

更にこの比喻法によって、「表現が平易で俳意の深い句」にも仕上げ、そのうえ、知的な諧謔性も滲み出ています。

(以下 次号の《よい句・残る句》(その4)へ続く。)

〔 秀作 〕

天賞

さくら道追ひかけつこのランドセル

国眼

櫻と入学児のコラボレーション。櫻は、わが国の国花であり、四季の「雪月花」を代表する。櫻の花の眼目は二つある。一つは、花の盛りの美しさで、しかも、はなやかなこと。二つは、ぱっと咲きぱっと散る、散り際のいさぎよさである。この二つが、われわれ日本人に好かれる要素となり、われわれの心情にマッチするのである。

掲句は、この櫻の〈さくら道〉と、はじめて登校する小学一年生の様子を、見事にコラボしたものである。

特に、中7と下5の〈追ひかけつこの〉〈ランドセル〉の措辞が素晴らしい。加えて、〈ランドセル〉のトントンという音が、一層、入学児の歓喜を、存分に伝えてくれる。

地賞

たはむれて落ちる気もなし春の雷

とも女

春雷の特徴を的確に捉えた秀作。今年は、菜種梅雨。それに続いて、寒気団が頻りに列島を直撃。積乱雲が発達して、雷を起こし、時には雹（ひょう）や霰（あられ）を降らせ、全国的に大きな被害をもたらしている。

ところが、ゲリラ型が顕著であるため、ゲリラの奇襲に遭遇しない地域では、まさに掲句のような、〈たはむれて〉〈落ちる気もなし〉〈春の雷〉となるのである。それだけに、今年の春雷の特質を的確に捉えた秀吟であるといえる。

人賞

虚子の忌や大椿もて鎌倉へ

祥代

伝統俳句の創始者に対する畏敬の念を彷彿させる佳吟。伝統俳句の創始者・高浜虚子の忌日は4/8。この日は、毎年、虚子の墓のある寿福寺で法要がある。

〈虚子の忌〉は、別名「椿寿忌」ともいう。作者は、この〈大椿〉を持って、椿を愛した〈虚子の忌〉に、鎌倉へ行ったのである。

なお、正岡子規の「糸瓜忌」、太宰治の「櫻桃忌」等は、忌日季語に季感があり、そのまま一句に取り込むことが可能です。しかし、その著名人が、どの季節に亡くなったかを、すぐに理解しにくい忌日俳句が、増えています。

従って、その忌日が、いつかわかりにくいので、その人を思い起こさせるような季語を、別に詠み込むことを勧めます。

〔 特選 〕

手桶にも桜蕊降る染井墓地

一馬

鑓水に昔を偲ぶ御所桜

十九

さまざまな出合ひと別れ桜咲く

二祥

あなかしこ御衣黄桜の泥牛庵

重九

朧月波間にゆれる屋形船

好童

花林檎遠き記憶の『若菜集』

和女

一弁の庇つきいづ紫木蓮

勇平

〔 秀作 〕

天賞

万緑や地球の青の深まり

重九

地球と万緑を対比した二句一章の典型句。昭和36年、人類初の宇宙飛行士ガガーリンの「地球は青かった」と云う、名言が脳裏をかすめる。宇宙から俯瞰すると、地球は青かったのである。

この青が、〈万緑〉によって一段と深まり、夏の盛んな活力を表しているのだ。一面のみどりを、“万”で表し、その音も、地球に響き渡っているようである。

地賞

でで虫や書棚に眠る太宰の書

勇平

太宰治の作品に対する追憶句。太宰治は、明治42年、青森の五所川原に誕生。作家を志し、文芸活動のかたわら、左翼運動に深入りして、二度も自殺未遂事件を起こした。作家としては、戦前『走れメロス』・『津軽』などを出し、戦後は、代表作の『ピヨンの妻』や『斜陽』を発表。次いで、『人間失格』を書きあげた直後、愛人と入水自殺。39歳の若さであった。

作者は、多分、今や中・高の国語の定番教材となっている、太宰治の短編小説『走れメロス』を、〈書棚に〉発見。これは、気高い心を持った青年の友情物語であが、これを、〈書棚〉から引き出し、読みながら、太宰治の追憶に耽ったのである。

人賞

若葉風揺らぐ鏡の小宇宙

和女

季節を鏡の中に捉えたユニークな秀作。初夏のみずみずしい新鮮な木々から、吹き付ける風。この〈若葉風〉の〈揺らぐ〉様を、〈鏡〉の〈小宇宙〉に発見したのである。

一般的に、晩春から初夏にかけての木々は、新緑・若葉・青葉それに万緑へと、段階を重ねて行くものである。

掲句は、初夏の〈若葉〉を取り上げ、それが、〈鏡の〉中に、〈小宇宙〉を醸し出しているのである。季節の移ろう中に、身を委ね、これをユニークに描写する力量に感服した。

「 特選 」

青鷺の貴婦人のごと侍従川

祥代

照手姫偲ぶ蛍や侍従川

好童

万緑の尾根に添へたるはぐれ雲

一幸

万緑の「御巢鷹尾根」へ肅々と

一馬

青鳩の翔ぶ万緑のうねりかな

十九

七十五重ねし命書を曝す

一税

燕の子新しき風として街を飛べ

一紀

なびかずにひたから天へ今年竹

とも女

《17回金沢区民俳句大会への参加 H27年6月7日》

三年前の年次大会から、ご当地俳句の促進方を、提案してきた。とりわけ、今年の年次大会で強調したことは、一点目として、投句される当季雑詠中、少なくとも一句は、金沢区の花鳥諷詠を詠ったご当地俳句を。二点目として、選句に当たっては、投句されたご当地俳句は、出席者それぞれが、1ポイントずつ、加点する位の配慮を、加えて欲しいとお願いした。

これらの結果、今回は、天地人賞総てが、ご当地俳句であり、しかも、わが浮雲俳句会のメンバーと金沢俳句会の会員が、これらを独占した。

〔 秀作 〕

天賞

老鷺の遠音に寂ぶる谷津の古寺

(他の結社)

ご当地の情景描写の巧みな秀吟。掲句は、中7の〈遠音に寂ぶる〉の措辞が格別。〈寂(さ)ぶる〉は、古びた趣きの出ることであるが、これが、〈老鷺〉にぴったり符合して、奥の深い佳句となった。

なお、〈谷津の古寺〉は、この地域にはいろんな古寺があるが、多分、「太寧寺」あたりではなかろうか。

地賞

卯の花腐し瀬戸例祭の居合い抜

(他の結社)

瀬戸神社の例祭の様子と珍しい季語の組み合わせのご当地俳句。瀬戸神社の創建は、社伝によると1180年。頼朝が伊豆の三島神社を勧請したのが発祥。古くは瀬戸明神と呼ばれていた。

この瀬戸神社の例祭に、珍しい〈卯の花腐し〉という季語を使って、梅雨のはしりの典雨が咲てる卯の花を、腐らせるのではないかと、心配する季感をうまく出した佳句である。

人賞

青鷺の羽ばたき眩し不動池

和女

青鷺の臨場感溢れるご当地俳句。〈青鷺〉は、わが国の鷺の中で最大級。鶴型の体形をしており、首をS字に曲げ、後頭部に青黒色の羽冠がある。体は青灰色で、ゆったりと羽ばたく。わが国ではだいたい留鳥となる。

この青鷺。しかもそれは番(つがい)である。一羽が池の出島の森の上に、もう一羽が、池の南側斜面に突き出した森におり、ときどき愛のシグナルを送っているのだ。

ご当地の不動池で、長時間、番の行動を観察し続けた、作者の驚きが、ひしひしと伝わってくる。

〔 特選 〕

ガレージの親子飛び立つ夏燕

(他の結社)

野島沖紺碧の空ヨット馳す

一稅

茅花流し左右に躲すモノレール

十九

枇杷の実の陽の温もりの手にやさし

(他の結社)

たらちねの母を丸ごと衣更

(//)



「ふれあいの道歩こう会」定例会 概要 No. 10

代表 小俣 悦男

今回は7月定例会(7月16日~17日の尾瀬ヶ原への1泊2日)が台風の影響で中止になったことで5月と6月のみの定例会概要報告となった。

独自コース26番「足和田山」(通算109回)

実施日:平成27年5月21日(木) 天候:晴れ

コース等:歩行距離約7km 歩行時間約4時間 参加者:18名(うちビジター2名)

コース所在地:山梨県南都留郡鳴沢村

交通:

<往き>八王子8:09⇒大月9:01<富士急行線>⇒河口湖9:55 駅前広場で準備体操

<帰り>河口湖16:11⇒大月17:06⇒高尾17:52⇒八王子18:03⇒横浜19:07着

コース:河口湖駅富士急バス10:15(発) 大嵐入口バス停10:30⇒1:50⇒

足和田山(1355m)<昼食>足和田山13:00⇒三湖台⇒紅葉台売店<オレンジタイム>

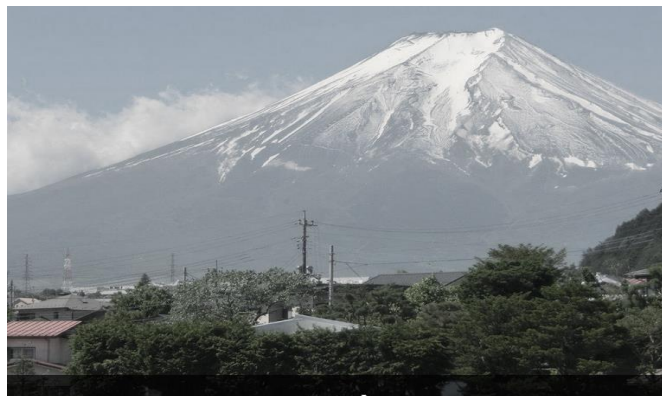
紅葉台(1164m)14:40⇒氷穴バス停15:40 富士急河口湖駅16:07

足和田山(標高1355m)は富士山の展望台として知られており五湖台とも言い、以前は富士五湖(山中湖、河口湖、西湖、精進湖、本栖湖)全てを見渡せたとのこと。しかし、人工林が成長した現在では河口湖、西湖、本栖湖の3湖しか展望できない。一方で眼下に広がる青木ヶ原樹海はとてつもなく広く迷い込んだら出られそうもない。生い茂った木々の隙間から見る河口湖が結構大きいことを再確認した。又、河口湖の先に見える三つ峠山(1785m)と特徴のある険しい姿を見せる鬼ヶ岳(1736m)、いずれも初夏の様相を呈しており、両山のとにかく目立つ山容の魅力を再認識した。足和田山から三湖台、紅葉台と続くコースは、東海自然歩道の一部になっているだけに良く整備されており、また落葉で覆われた道はとても歩き易く会話を楽しみながらの余裕のある山行となった。なお、改修中だった三湖台は工事がほぼ完了、周囲の展望が楽しめることから、このコースの魅力が増した。

振り返る初夏の富士山二度二度一税



足和田山(五湖台)山頂での集合写真



初夏の富士山

独自コース27番「秩父 武甲山」(通算110回)

実施日：平成27年6月11日(木) 天候：曇りのち晴れ

コース等：歩行距離 約10km 歩行時間 約5時間 参加者：17名

コース所在地：埼玉県秩父市、秩父郡横瀬町

交通：

<往き>集合：横浜駅 JR横浜 6:26⇒7:03 池袋、西武池袋 7:30 (特急ちちぶ5号)
⇒8:53 横瀬⇒(タクシー)生川(1丁目 第1鳥居駐車場) 準備体操

<帰り>秩父鉄道浦山口 15:48⇒(影森乗換)⇒16:01 御花畑下車、西武秩父駅 16:25 (特急ちちぶ36号)⇒17:47 西武池袋

コース：生川(1丁目)9:25⇒不動の滝(18丁目)10:05⇒大杉広場(32丁目)10:45⇒御嶽神社(52丁目)11:40⇒11:45 山頂(昼食)12:30⇒-長者屋敷の頭 13:10⇒橋立川源流 14:15(オレソジタイム)14:30⇒15:20 土津園 15:30⇒15:40 浦山口駅

武甲山(1,304m)は、秩父盆地の南側にあり、標高は明治33年(1900)の測量では1,336mであったが採掘が進んだ結果、現在は1,304m。秩父地方の総社である秩父神社の神奈備山(神の鎮座する山)である。別名を秩父嶽、武光山ともいう。武甲山は北側斜面が石灰岩質であり、石灰岩の採掘が行われている。その結果北側斜面は植生がほとんど見られず、白っぽく見えるが、他方向の斜面は自然豊かな森林となっている。山にはスカシユリや、石灰岩地の武甲山特有で、埼玉県希少動植物種に指定されるチチブイワザクラが見られる。また、伏流水は平成の名水百選に選定された。なお、6月11日(木)の登山当日も石灰岩発掘のために岩石を崩す発破の音が聞こえた。

梅雨晴れ間名峰武甲そそり立つ一朶



山肌を切り取られた武甲山(北側斜面)



武甲山山頂からの秩父市街

掲載記事並びにコースに関わるお問い合わせは下記にお願いいたします。

小俣 悦男メールアドレス：e-omata@jcom.zaq.ne.jp なお“わ”の会のHP「ふれあいの道独自コース」は定例会ごとに多数の写真がカラーで掲載されております。

パソコン何でも相談室【4】

代表 林 洋

お使いのパソコン画面右下のタスクバー上に Windows アイコン(下図では白丸で囲んでいます)が出ていませんか？



これは Microsoft 社からの「Windows10 を入手しませんか」と言うお誘いです。

このアイコンをクリックすると、Windows10 (新 OS) を無償でダウンロードし、インストールすることができます。このサービスは、2015年7月29日から1年間提供されます。対象は、Windows7、8 (8.1) を搭載したパソコンです。このアイコンが出ていないパソコンは対象外です。

ここ20年ほどの間 Microsoft 社の提供する OS が、Windows Xp → Windows 7 → Windows 8 (8.1) と変化し、Windows 8 になったときには以前の OS の操作性から大幅に変わって「使いづらい」との悪評が上がりました。Windows 10 は、この悪評を意識して操作性を Windows 7 に近づけて性能を向上させた OS です。このアイコンが出ている方は、新 OS をインストールしましょう。

1. 無償アップグレードの手順

- ① タスクバーの右端に表示される小さな Windows アイコンをクリックする。
- ② 「Windows10 を入手する」窓の「無償アップグレードの予約」をクリックする。
- ③ 予約の確認を希望する場合は、メールアドレスを入力する。
- ④ 「閉じる」ボタンをクリックして予約を完了する。

予約しておくで、7月29日以降新 OS のデータが配布されます。なお、予約はいつでも取り消すことができます。インストールの準備ができた点で画面にお知らせが表示されます。

2. Windows 10 のシステム要件

新 OS を使用できるパソコンは次の要件を満たしている必要があります。

- プロセッサ：クロック周波数 1GHz 以上
- メモリ：32ビット版は 1GB、64ビット版で

は 2GB

- ハードディスクの空き領域：32ビット版 OS では 16GB、64ビット版 OS では 20GB
- グラフィックカード：DirectX 9 以上
- ディスプレイの画面解像度：1,024×600 ピクセル

3. Windows 10 で使えなくなる機能

- ① Windows Media Center は使えなくなります。DVD 再生等に Media Center を使っていて、今後とも必要な人は、しばらくは今の OS のままで使い続けた方が良いでしょう。新 OS に替える場合には別途 DVD 再生ソフトを入手する必要があります。
- ② Windows7 のデスクトップガジェットは、廃止されます。
- ③ Windows7 にインストールされていたソリティアなどのゲームソフトは、削除されます。これらのソフト (最近はアプリと言います) は、Windows ストアで入手することになります。
- ④ USB 接続の外付けフロッピーディスクドライブを使用している場合、ドライバーを別途入手する必要があります。

私は、Windows10 の発売に先立って配布されたプレビュー版を使っています。この使用経験から新 OS をおすすめします。特に次の点が改善されました。

- ① 画面左下の「スタート」ボタンをクリックして現れるアプリの表示が、Windows8.1 ではスマートフォンの様なタブレットモードで評判が悪かったのですが、ほぼ Windows7 形式のデスクトップモードに戻りました。
- ② インターネットのブラウザーアプリが、Internet Explorer から Microsoft Edge に変わりました。このブラウザーは動きが軽快で、お勧めです。なお、Internet Explorer も継続して使えます。
- ③ タブレットモードとデスクトップモードを設定で切り替えることができます。

ハリスの問答書（通商条約締結要求）

代表 真田 雅行

1857年（安政4）下田に着任した米国初代総領事ハリスは、10月21日江戸城に登城して将軍家定に謁見し、大統領ピアース親書を提出し、同26日老中首座堀田正睦（まさよし）の役宅に於いて会談し、日米通商条約締結を要求したが、その際正睦に申し立てた問答書（発言録）が残っている。

その中でハリスは英国が中国（清国）と交えたアヘン戦争の結果、及び現在交戦中のアロー号事件＝第二次アヘン戦争（仏国も参加）の見通しを踏まえて、

- （1）日本が米国と最初に近代的二か国間条約（日米和親条約及び下田条約）を締結したことで「親友」となったとの意識を米国は有している、と先ずは外交辞令を述べた上で、
 - （2）米国政府に於いては干戈（戦争）によって他国領土を得ることは禁じていること、
 - （3）これまで一里たりとも軍力を使って合衆国領土に併合したことは決してないこと、
 - （4）これまで米国は他国と条約を結んだことはあっても軍力を用いて強制したことはない、
- として、米国は領土的野心のない平和国家であるのに比して、英国は「日本と戦争致し候義を好みて心掛け居り候」好戦国であることを強調し、英仏が第二次アヘン戦争で清国に勝利した暁には次に日本に侵略の照準を定めるだろうから、そうなる前に日本が米国と通商条約を締結しておけば英仏も同じ条件で条約締結せざるを得ないから、先ずは米国と条約を結ぶことが急務であることを強調している。

そしてその背景には蒸気船や「エレキトルレグラフ」（電信）の発明などの技術革命によって相互の通商が大いに進み、西洋先進諸国（列強）が50年来大きく変化してきたという事実認識があった。その上で西洋各国は「世界中一族に相成候様致度き心得」を有しており、それを拒否する国に対しては「世界一統被差障候間取除心得」とし、「何如の政府二而も一統いたし候義を拒み候様八有間敷之」と、拒否が不可能な事を力説し、更に「一統」を実現するための要求として「ミニンストル」（公使）の江戸駐在と自由貿易の開始を迫っている。

要するにハリスは諸外国は強力な艦隊を日本に派遣し通商を要求するだろうから、日本は屈辱か戦争を選ばねばならず、譲歩するなら適当な時期にする必要がある。平和の外交使節に対して拒否したものを艦隊に対して屈辱的に譲歩することは全国民の眼前に政府の威信を失墜しその力を弱めることになる、として日本にとっては交渉によって平和裏に通商（自由貿易）を許容することが幕府の権威を貶めない得策である、と説いたのである。

結局幕府はハリスのこの説得（＝圧力）を受け入れる形で12月11日からハリスと目付岩瀬忠震（ただなり）・下田奉行井上清直との間で条約締結交渉を開始する。

日本がここまで追い詰められたのは、基本的には国力が劣る日本が今戦っても勝ち味はなく、負ければ列強の植民地にされかねなかったからであろうが、鎖国か開国かをめぐり国内対立が根底にある。

ところで「朱子学」は鎌倉時代に日本に入った儒教精神に基く生活規律を中心に定めたものだが、そもそも中国が異民族に支配されていた「宋」王朝の時代に成立した背景があるため、「誰が正当な主権者であるか」という大義名分論が中心思想となり、この正当な主権者に対しては絶対忠誠を求めるものであった。即ち「漢民族こそが中国の正当な支配者であるべきであり、支配者は異民族であってはならない」とした。

徳川家康は徳川家の安泰と永続のためであろう。この朱子学の「主権者に対する絶対忠誠」の面を最重要視し、朱子学を幕藩体制の支配原理として採用した。（更に朱子学の「商売蔑視」する面が時代の経過と共に強調され、支配階級たる武士が商売をすることは許されないという考えを定着させた。）

親藩の一つ水戸藩では2代徳川光圀が『大日本史』の編纂を開始したが、ここで語られているのは、この国は朝廷が治めるのが正しいという皇国史観であり、18世紀以降対外的危機が深まると共にこの「水戸朱子学」が実践的政治論として儒学・国学・神道を融合し、尊皇攘夷論や国体論として全国に大きく影響を及ぼし始めた。この観念論は特に若者の心を捉え、日本の真の主権者は幕府ではなく天皇で

あり、尊皇こそがあるべき姿で、天皇の先祖は神であるから神の国を汚す外国（人）は排除すべし、との「攘夷論」に発展した。

江戸時代御三家の中でも水戸家だけは勤皇の家柄つまり朝廷に忠義を尽くす家だった。これが明治維新の思想的源流になっていく。

こうして現実の国際情勢下、植民地化回避のためには開国止むを得ずとする開国派と、外国を打払えとする鎖国派の相克が続く。どちらを採ってもそのままでは済まない絶対絶命下で、日本の舵取りを任せられ、誰かが決断しなければならない状況下において、局面打開の意見具申したのが開国派の幕臣官僚岩瀬忠震等であり、即ち朝廷に対してはこれまで「事後報告」で済ませてきたものを「事前許可」をとり、即ち天皇の権威を借りて天下に号令し尊皇攘夷派の反対を抑える、というものであったが、土壇場になって88人にも及び中・下級公家等の猛反対により、「外交は幕府に任せよう」という天皇の勅許が覆ったため、幕府の試みは失敗、逆に窮地に陥り、天皇説得に失敗した当時の老中首座（内閣総理大臣兼外務大臣）堀田正睦は悄然として江戸へ戻り、そして急遽大老に就任した井伊直弼は彼を被免し、安政5年（1858）6月19日日米通商航海条約の無勅許調印を強行し、水戸藩を中心とする鎖国・尊皇攘夷派を嚴重処罰弾圧した（安政の大獄、将軍継嗣問題も絡む）。

更に朝廷が幕府宛ではなく攘夷派の水戸藩宛に密勅（戊午ぼごの密勅という）を発し、幕府の違勅調印と尊皇攘夷派処罰を責めた為、井伊直弼が激怒し密勅の幕府返納を迫った。これが大老暗殺（桜田門外の変）の遠因となったが、この一連の流れをみると、「徳川斉昭」と「井伊直弼」の運命的ともいえるべき対立が根底にあるように思う。片や御三家の一つ、片や譜代の筆頭、どちらも35万石の雄であるが、水戸藩は御三家といっても親皇室、水戸朱子学の牙城、幕府が万一の場合でも皇室に味方するといわれていた。

斉昭は尊皇攘夷の旗頭であり、朝廷工作や「桜田門外の変」の黒幕とされている。

一方井伊直弼は先祖が徳川四天王の一人であり、幕府（徳川家）存亡の危機に直面した時期に大老に指名されたが、列強との国交問題という国家的課題を解決するにあたって、国家の運命よりは徳川家の運命（安泰）を優先し、最大権力を反対派の政見封殺と弾圧のため行使した。

これは直弼からすれば、斉昭が朝廷工作に関与したという証拠を得るためだったが、確たる証拠は遂に出なかった。しかし徳川家を守るためには非常措置は誰かがやらねばならず、それを立場上自分が実行し責任をとる、とその運命を自覚していたふしがある。ただ自己の政見のみならず幕府を支える諸藩の意見も聞くべきであった。

いずれにせよ3代家光の上洛が幕府権力の誇示であったのに対し、2百年ぶりの14代家茂の上洛が逆に幕府権力失墜の象徴になったことに時代の変化を感じずにはいられない。



ハリス



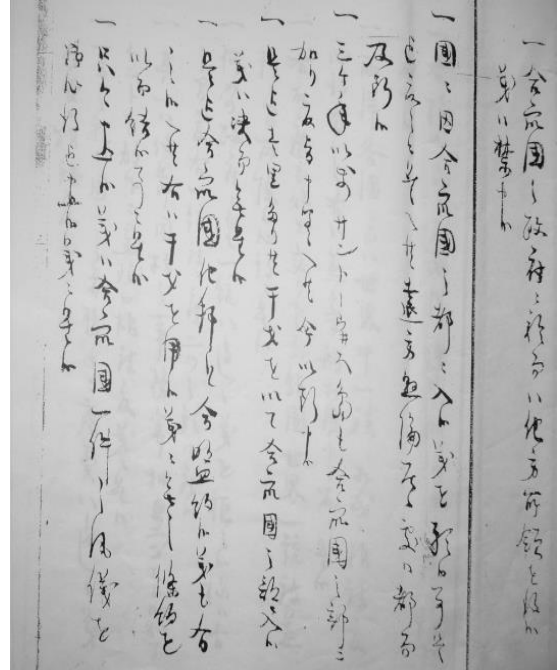
安政四年亜米利加使節登城の図

以下は『ハリス問答』の抜粋と釈文である。概略以下の通り。

石川県 蒼龍館文庫（佐渡家文書）『亞米利加書翰和解』より

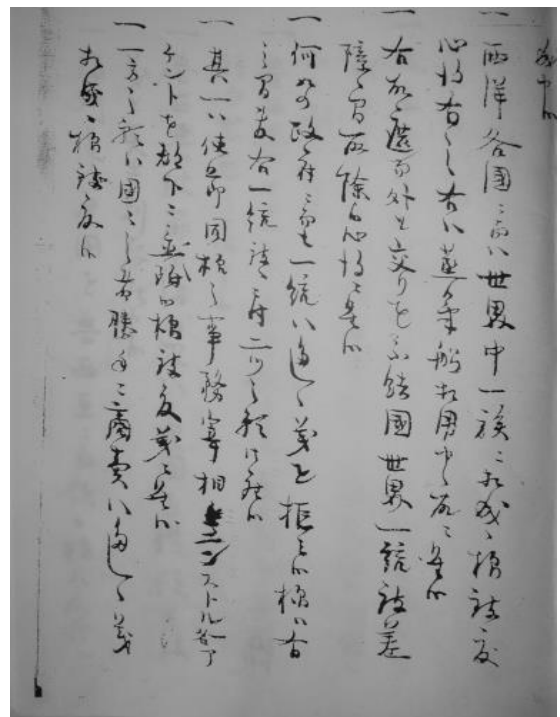
(1) 米国は戦争により自国領土としたことはなく禁止されていること。(注1848年メキシコから加州獲得)

一 合衆国之政府ニ於而ハ、他方所領を得候義ハ禁申候
一 国ニ因合衆国之都ニ入候義を願候事是迄度々ニ御坐候へ共、遠方懸隔居候処ハ都而及断候
一 三ヶ年以前サントーウ井ス島も合衆国之部ニ加リ度旨申聞候へ共、今以断申候
一 是迄老里たり共干戈を以て合衆国之部ニ入候義ハ決而無御坐候
一 是迄合衆国他邦と合盟約候義も有之候へ共、右ハ干戈を用候義ニ無之條約を以而結候事ニ御坐候
一 只今申上候義ハ、合衆国一件之風儀を御心得迄申上候義ニ御坐候
一 五十年以来西洋者種々変化仕候義ニ御座候



(2) 蒸気船・電信などにより世界は一つとなり、世界の願いは首都に駐在を置くことと自由貿易である。

一 蒸気船發明以來、遠方方懸隔候国ニも極手近之様ニ相成申候
一 エレキトルレガラーフ發明以來、別而遠方之事も速ニ相分リ候様罷成候、右器械を用候へ者、江戸表より華盛頓迄へ一時之間ニ応答出来いたし候
一 カルホルニヤより日本へ十八日ニ參候義出来致候義、蒸気船發明故之義ニ御座候
一 右蒸気船發明より諸方への交易も弥盛ニ相成申候
一 右様を成候故、西洋諸州何れもいたし候様相成申候
一 西洋各国ニ而ハ、世界中一族ニ相成候様致度心得有之、右ハ蒸気船相用申候故ニ御坐候
一 右故遮而外と交りを不結国、世界一統致差障候間、取除候心得ニ御坐候
一 何如の政府ニ而も一統いたし候義を拒ミ候様ハ有之間敷、右一統致候ニ付二つの願御座候
一 其一ハ、使節同様之事務宰相、□ニンストル一名アケントを、下ニ置附候様致度義ニ御坐候
一 一方之願ハ、国々之者勝手ニ商売いたし候義相成候様致度候



(3) 英国は日本との戦争を好み、そう心掛けており、ロシアが満州や清国を横領したいと英国は思っている

加ニ於而左迄の願ニハ無御座候
 一 英吉利国の水師提督ヤーメススチルリング取
 結候条約ハ、彼政府ニ而ハ不伏ニ御坐候
 一 彼政府之心得ニ而ハ、日本之交も各国同様ニ致度と
 の事ニ御坐候
 一 英吉利ハ日本ト戦争致候義を好而心懸居候
 右の次第ハ次ニ可申上候
 一 英吉利ハ、東印度下領を魯西亜の為殊の外
 氣遣ひ恐れ居候義ニ御坐候
 一 近来英吉利・佛蘭西一致いたし、魯西亜と
 戦争ニ及候者、魯西亜ニ所々蚕食致候を惡候
 而の義ニ御坐候
 一 魯西亜のサカレンアミルを領し居義を英国ニ
 於而尤惡ミ居申候
 一 魯西亜ハ彼筋より満州及び唐國を横領可致
 義と英吉利存居申候

西洋各國ハ此世界ニ一統ニ成、情法ニ交
 心付右ノ如クハ並々手船お用や左ノ如ク
 一 右ノ如ク外ノ交リも並々情法ニ一統法ニ
 障らば左ノ如クハ
 一 何ぞ政府ニ一統ハ直ク美と拒止極ニ古
 一 其ノ如ク一統法ニ一ツノ如クハ
 一 其ノ如ク一統法ニ一ツノ如クハ
 一 其ノ如ク一統法ニ一ツノ如クハ
 一 其ノ如ク一統法ニ一ツノ如クハ

(4) 英国はロシアのインド進出を恐れており、それを防ぐため北海道を得たいと考えている。

一 亞墨利加政府ハ英國等ニ力を合せ、唐國
 と戦争致し候義ハ無御座候
 一 併唐國之所為不宜義ハ各国皆唱居申候
 一 唐國之爭乱、基本ハ一ツ有之候、右ハ阿片ニ
 御坐候
 一 三十年前ハ広東近辺ニ一ヶ所ニ限り、其他ハ
 阿片を一切用不申候
 一 当時ハ諸方共相用、其人數百万餘ニも相成可申
 其費夥敷御坐候
 一 二ヶ年前一ヶ年阿片多葉粉之費ハ高式千
 五百万兩ノ相聞申候
 一 五ヶ年之費平均ハ多く候ヘハ、三千万兩程ニ
 相成申候
 一 唐國の害ハ此一方のみニ無之候
 一 阿片を用候ヘ者、体を弱く致候事外の毒より
 嚴敷御坐候
 一 阿片を用候ヘハ、富家も貧ニ相成リ、才氣有之
 候者も精神疲れ、物事相考候義相成不申
 一 終ニハ何れも外人同様道路ニ倒臥候様相成、右
 貧國より盜賊等の惡事を仕出候、死を不顧
 働致候者不少候

一 亞墨利加政府ハ英國等ニ力を合せ、唐國
 と戦争致し候義ハ無御座候
 一 併唐國之所為不宜義ハ各国皆唱居申候
 一 唐國之爭乱、基本ハ一ツ有之候、右ハ阿片ニ
 御坐候
 一 三十年前ハ広東近辺ニ一ヶ所ニ限り、其他ハ
 阿片を一切用不申候
 一 当時ハ諸方共相用、其人數百万餘ニも相成可申
 其費夥敷御坐候
 一 二ヶ年前一ヶ年阿片多葉粉之費ハ高式千
 五百万兩ノ相聞申候
 一 五ヶ年之費平均ハ多く候ヘハ、三千万兩程ニ
 相成申候
 一 唐國の害ハ此一方のみニ無之候
 一 阿片を用候ヘ者、体を弱く致候事外の毒より
 嚴敷御坐候
 一 阿片を用候ヘハ、富家も貧ニ相成リ、才氣有之
 候者も精神疲れ、物事相考候義相成不申
 一 終ニハ何れも外人同様道路ニ倒臥候様相成、右
 貧國より盜賊等の惡事を仕出候、死を不顧
 働致候者不少候

(5) 清国争乱の元はアヘンであり、英国が強要の三角貿易により膨大な費用のみならず人体への害が著しい。

一 亞墨利加政府ハ英國等ニ力を合せ、唐國
 と戦争致し候義ハ無御坐候
 一 併唐國之所為不宜義ハ各国皆唱居申候
 一 唐國之争乱、基本ハ一ツ有之候、右ハ阿片ニ
 御坐候
 一 三十年前ハ広東近辺ニ一ヶ所ニ限り、其他ハ
 阿片を一切用不申候
 一 当時ハ諸方共相用、其人數百万餘ニも相成可申
 其費夥敷御坐候
 一 二ヶ年前一ヶ年阿片多葉粉之費ハ高式千
 五百万兩、相聞申候
 一 五ヶ年之費平均ハ多く候ヘハ、三千万兩程ニ
 相成申候
 一 唐國の害ハ此一方のみニ無之候
 一 阿片を用候へ者、体を弱く致候事外の毒より
 嚴敷御坐候
 一 阿片を用候へハ、富家も貧ニ相成り、才氣有之
 候者も精神疲れ、物事相考候義相成不申
 一 終ニハ何れも外人同様道路ニ倒臥候様相成、右
 貧國より盜賊等の悪事を仕出候、死を不顧
 働致候者不少候

一 亞墨利加政府ハ英國等ニ力を合せ、唐國
 と戦争致し候義ハ無御坐候
 一 併唐國之所為不宜義ハ各国皆唱居申候
 一 唐國之争乱、基本ハ一ツ有之候、右ハ阿片ニ
 御坐候
 一 三十年前ハ広東近辺ニ一ヶ所ニ限り、其他ハ
 阿片を一切用不申候
 一 当時ハ諸方共相用、其人數百万餘ニも相成可申
 其費夥敷御坐候
 一 二ヶ年前一ヶ年阿片多葉粉之費ハ高式千
 五百万兩、相聞申候
 一 五ヶ年之費平均ハ多く候ヘハ、三千万兩程ニ
 相成申候
 一 唐國の害ハ此一方のみニ無之候
 一 阿片を用候へ者、体を弱く致候事外の毒より
 嚴敷御坐候
 一 阿片を用候へハ、富家も貧ニ相成り、才氣有之
 候者も精神疲れ、物事相考候義相成不申
 一 終ニハ何れも外人同様道路ニ倒臥候様相成、右
 貧國より盜賊等の悪事を仕出候、死を不顧
 働致候者不少候

(6) インドは西洋との条約を結ばなかったために英国の植民地になったことを日本は教訓とすべきである。

一 國々之懇切ハ交易を首と申上候ハ、交易致候へハ漸々
 睦しく相成義ニ御坐候
 一 私義日本へ參掛シヤムへ罷越、條約相結申候、其後
 右振を以同國、仏蘭西條約相結申候、右亞墨利加、
 仏蘭西と條約相結候趣意ハ、兼而英吉利シヤムを奪
 取候心組相見候故、其横領を防ぎ候為之義ニ御坐候
 一 東印度ハ只今一円英吉利之所領ニ相成候へ共、先
 年ハ數ヶ國分れ居候所、何れも西洋之條約不取
 結候故、遂ニ英國ニ一統被致、右英國より被攻候期、條
 約相結候與國等助候者無之候故、容易被攻取候
 一 他領之條約不相結、一本立之國の損なるを諸方ニ
 於而右より別而心付申候
 一 故ニ日本ニ於ても東印度之振合を以、得と御勘考
 有之様奉存候
 一 日本も交易御開相成候ハ、御國之船印諸州之港々
 二而見知候様相成可申候
 一 高山へ格別眼力之宜人登り見候ハ、亞墨利加
 州之鯨漁船數万艘日本國之周リニ寄合鯨
 一 漁致候義相見可申候、自國ニ而難致業候も無之所
 一 總而不同、他國々之者ニのみ利を得られ候段、笑止の
 事ニ御坐候
 一 大統領より亞墨利加ニ而心得居候義ハ何成共
 御傳申候御坐候

一 英吉利ハ日本ト戦争シテ好意心無
 有之候事ハ決シテ下下
 一 英吉利ハ東印ニ下領と魯西亞の珠の
 一 争奪ハ恐れなき事ナリ
 一 近來英吉利佛蘭西一法ハ魯西亞と
 一 戦争シ及、支魯西亞と所々競合法ハ恐
 一 二の戦ト云ハ
 一 魯西亞のサカリアんと欲し、その身と英國、
 一 社令七惡く居下
 一 魯西亞ハ彼國ハ海峽及び印度國を樓段可致
 一 義を英吉利存下中
 一 一法例ニテ、魯國と魯西亞との領と相成候

*こうして日本はハリスの説得(圧力)通りとなり、開国して幕末~明治へと時代は動いて行く。

行事予定

2015年9～11月の予定

注：表中の「CC」は、「地区センター」の略

	9月	10月	11月
学習会	9月12日(土) 金沢CC 13:30~12:00 中先代の乱と鎌倉・金沢 中世内乱研究会 会長 鈴木 由美 氏	10月9日(金) 9:15 一称名寺を中心にー 探訪実行委員会	11月14日(土) 能見台CC 9:30~12:00 一金沢八景と中国古典文化ー 県立国際言語文化アカデミア 教授 新谷雅樹 氏
寺社を巡る会	9月11日(金) 集合：新羽駅 10:00 地区：新羽 訪問先：西方寺、杉山神社、 光明寺、蓮華寺、善教寺、 専念寺	10月1日(木) 集合：片倉町駅 10:00 地区：菅田、羽沢 訪問先：最勝寺、菅田神明 社、羽沢富士塚、東泉寺、専 称寺	11月5日(木) 集合：大口駅 10:00 地区：花木園 訪問先：子安農園跡、建功寺 赤門、花木園、馬場稲荷、 寺尾城址、松陰寺
古文書を読む会	9月16日(木) 区役所内 10:00~12:00 永嶋家文書 9月24日(木) 金沢公会堂 10:00~12:00 ジョン万次郎帰朝記事	10月8日(木) 金沢公会堂 10:00~12:00 永嶋家文書 10月22日(木) 場所未定 10:00~12:00 ジョン万次郎帰朝記事	11月12日(木) 金沢公会堂 10:00~12:00 永嶋家文書 11月26日(木) 金沢公会堂 10:00~12:00 ジョン万次郎帰朝記事
ふれあいの道歩こう会	9月17日(予備日18日) 独自コース29 日和田山と巾着田 埼玉県日高市高麗	10月15日(予備日16日) 独自コース30 笠山・堂平山・剣ヶ峰 埼玉県東秩父村	11月19日(予備日20日) 独自コース31 大菩薩峠 山梨県塩山市
懐かしの映画を観る会	9月14日(月) 12,30 金沢cc キリマンジェ口の雪 (仏) 9月28日(月) 12,30 金沢cc サイコ (米)	10月12日(月) 12,15 金沢cc 不毛地帯 (日) 10月26日(月) 12,15 金沢cc 終電車 (仏) 江戸の雨傘 (仏)	11月9日(月) 12,30 金沢cc ドライビング miss デイ - (米) 11月23日(月) 12,30 金沢cc 緋牡丹博徒、お竜参上 (日)
浮雲俳句会	9月27日(日) 9:30~ 金沢CC 第93回例会 テーマ 初島	10月25日(日) 13:00 ののほな館 第16回金沢区 民吟行大会への参加	11月29日(日) 9:30~ 金沢CC 第94回例会 テーマ 猿島
パソコンを使いこなす会	9月8日(火) 金沢CC WORD 基礎講座 ー図や画像の挿入 2ー 9月15日(火) 金沢CC EXCEL 基礎講座 ーセルデータ作成ー 9:30~12:00	10月13日(火) 金沢CC 画像処理復習講座 ーデジカメ写真加工ー 10月20日(火) 金沢CC Windows 復習講座 ーパソコンのトラブル対策ー 9:30~12:00	11月10日(火) 金沢CC Windows 復習講座 ーパソコンのメンテナンスー 11月17日(火) 金沢CC WORD 基礎講座 ー表・箇条書きー 9:30~12:00

連絡先:

- ・学習会 785-1639(今井) ・古文書を読む会 784-4900(真田) ・浮雲俳句会 774-3878(北野)
- ・ふれあいの道歩こう会 782-8147(小俣) ・懐かしの映画を観る会 701-1606(佐藤)
- ・寺社を巡る会 046-866-3339(吉田寿) ・パソコンを使いこなす会 701-9775(林)

編集後記 加齢による脳の衰えを抑止するのに効き目があるのは「好奇心」だと信じています。「わ」の会の分科会にはその機会を与えてくれるサークルが揃っています。まず、何でもいから自分の好きなことから始めること、参加したらなるべく続けることが大切だと思います。そして、時間があつたら是非「好奇心」を文字にすることに挑戦して下さい。毎回紙面を埋めるのに苦労している編集委員会では、研究からエッセイまで皆さんの原稿を心からお待ちしています。(伊達)	発行日	平成27(2015)年8月8日
	発行月	4回(2,5,8,11月)
	発行者	金沢区生涯学習“わ”の会
	編集長	鈴木 秀幸
編集委員	貝田 誠作 田中 徳明 伊達 一雄 相川 勲 柴崎 幸治 金久保常二 山腰策次郎 金間 誠一	